

# あたらしい縄文時代が やってきた!

ロコミで話題沸騰、

『皇の時代』続編を緊急刊行!!  
新時代を予見する天縄文理論!

いよいよはじまる、

# 皇の時代

天縄文理論は

どのように生まれたのか



2000円+税  
全296ページ 四六判・上製本

小山内洋子 || 著  
エムエム・ブックス || 刊

## 大転換期の今を 「皇の時代」と呼ぶ、 「天縄文理論」とは?

世の中を動かす宇宙プログラムの仕組み、天変地異や異常気象の背景、大転換期特有の浄化・消化のプロセス、皇の時代流の仕事(魂職)・暮らし・経済・教育・人間関係のこと……。天地が引っくり返るような驚きとワクワクを詰め込んでお届けします! 不安や恐れが蔓延する世界で生きづらさを感じている方には、本書が一筋の光となってくれるはずです。

## 小山内洋子(おさない・ようこ)

天縄文理論研究家。宇宙物理研究家の故・小笠原慎吾さんに16年間師事する。著書に、世の中や宇宙の真理を解析した理論書『天縄文理論 これから二五〇〇年続く皇の時代』『新装版 大転換期の後 皇の時代』(ともに、しあわせ村=刊)。

## 皇の時代

女性中心、精中心  
がんばらない、ゆっくりやる  
個になる  
先祖との縁がきれる  
自分で学習する  
労働はAI(機械)が行う  
自分も他人も大切  
楽なこと・楽しいことが好き  
アクセルとブレーキを持って  
臨機応変に対応  
趣味で働く

## 祖の時代

男性中心、物質中心  
競争する、はやくやる  
チームで行う  
家族が大事  
学校・先生が教える  
労働は人間が行う  
自分より他人を優先  
苦勞・不自由が好き  
アクセルしかない  
(ブレーキがない)  
働き続けないと不安

ご店舗名・ご担当者名

備考欄

ご注文冊数

冊